



### 野沢公子先生 略歴

- |          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 1948年 1月 | 北海道札幌市に生まれる                         |
| 1970年 3月 | 青山学院大学第二部文学部英文科卒業                   |
| 1972年 3月 | 青山学院大学大学院文学研究科修士課程修了 文学修士の学位取得      |
| 1972年 4月 | 東京都私立駒込高等学校専任教員 (1974年 5月まで)        |
| 1977年 3月 | 青山学院大学大学院文学研究科博士課程 単位取得満期退学         |
| 1977年 4月 | 愛知県立大学外国語学部英米学科専任講師 (1980年 9月まで)    |
| 1980年10月 | 愛知県立大学外国語学部英米学科助教授 (1997年 3月まで)     |
| 1993年 4月 | ペンシルヴァニア大学客員研究員 (県費甲種) (1994年 3月まで) |
| 1997年 4月 | 愛知県立大学外国語学部英米学科教授                   |
| 2013年 3月 | 定年により愛知県立大学を退職                      |

野沢公子先生 研究業績目録

共 著

- 『監督と俳優の美学』（『日本映画は生きている』第五巻）  
黒沢清・四方田犬彦・吉見俊哉・李 鳳宇 編 岩波書店 2010

論 文

- 「ユードラ・ウエルティエーの世界—愛と混沌をめぐって—」 『言語と文学』 19号 1976
- 「*The Hamlet*：ラトリフをめぐって」 青山学院大学大学院『論集』 1号 1977
- 「『デルタの結婚式』をめぐって」 アメリカ文学会東京支部会報 33号 1977
- 「K・A・ポーターの世界—ニヒリズムと芸術家意識—」  
青山学院大学英文学会会報 18号 1978
- 「エレン・グラスゴー私怨のアイロニー」  
『オベロン』（南雲堂）18巻2号（通巻44号） 1980
- 「アレン・テイトの南部観と *The Fathers* —ある南部知識人の悲劇—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第13号 1980
- 「フォークナーの女性像」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第16号 1983
- 「アリス・ウォーカーの女たち」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第18号 1985
- 「*My Antonia* における性の問題とキャザーのジレンマ」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第19号 1987
- 「『黄色い壁紙』におけるフェミニズムの戦略をめぐって」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第21号 1989
- 「*Life in the Iron Mills* における語り手と読者」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第23号 1991
- 「フォークナーの女殺し—アディー・バンドレンの場合—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第24号 1992
- 「*Unspeakable Things Unspoken — Beloved* 論—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第25号 1993
- 「大衆女性文学における抵抗の表現—『シャーロット・テンブル』から『アンクル・トムの小屋』まで—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第27号 1995
- 「トニ・モリスン：*Jazz* の世界」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第28号 1996
- 「母親ものメロドラマ『ステラ・ダラス』（1937）再考—抵抗する観客を目指して—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第29号 1997

- 「『浮気女』におけるエライザの抵抗」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第30号 1998
- 「『森の彼方に』：田舎町の悪女」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第31号 1999
- 「ダグラス・サーク・メロドラマ・考える女」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第33号 2001
- 「ダグラス・サークのアメリカ批判—*Imitation of Life* をめぐって—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第35号 2003
- 「「楽しい折衝」：ドロシー・アーズナーの『クレイグの妻』」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第37号 2005
- 「*Dance, Girl, Dance* ——バレスク・パフォーマティヴィティー・パロディ—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第38号 2006
- 「ドロシー・アーズナーの *Working Girl* (1931) —生成過程とテキストの抵抗—」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第40号 2008
- 「*Christopher Strong: Cynthia, Monica and Elaine*」  
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第42号 2010
- その他**
- 「Ellen Glasgow and Eudora Welty」 京都アメリカ研究セミナー 専門家会議論集 1979
- 「エレン・グラスゴー」 『英語青年』 特集：女性と英米文学 (研究社)  
第27巻5号 1981
- 国際シンポジウム「映画・歴史・フェミニズム」コメント  
明治学院大学大学院国際文化研究所『言語文化』第23号 2006
- 書評**
- 『読むことのポリフォニー：フェミニズム批評の現在』 武田美保子他著 (ユニテ)  
アメリカ文学会中部支部 ニュースレター No.1 1993
- 『アメリカ女性文学論』 鈴江璋子著  
『英文学研究』(日本英文学会) 75巻第2号 1997
- 『映画女優 若尾文子』 四方田犬彦・斉藤綾子編著 『映像学』72号 2004
- 口頭発表**
- 「エレン・グラスゴーの後期の作品について」 アメリカ文学会中部支部例会 1978
- 「Ellen Glasgow and Eudora Welty」 京都アメリカ研究セミナー専門家会議 1979
- 「フォークナーの女性像」 日本アメリカ文学会全国大会 1982
- 「*As I Lay Dying* における運動感覚」 アメリカ文学会中部支部大会 1991
- 「トニ・モリスンとチャールズ・ジョンソン」  
アメリカ文学会中部支部大会シンポジウム 1992

- 「トニ・モリスンにおけるセクシュアリティ：キャビアとグリッツ」  
アメリカ文学会中部支部大会シンポジウム 1994
- 「語り手は誰なのか：トニ・モリスンのジャズ」 アメリカ文学会中部支部例会 1995
- 「Maternal Melodrama と『ステラ・ダラス』」 アメリカ学会全国大会 1997
- 「ドロシー・アーズナーの *Dance, Girl, Dance* (1940) セクシュアル・アイデンティティ  
イヤー・階級・人種の攪乱」 アメリカ学会全国大会 2008